

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | こぼんはうすさくら八幡西割子川教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年 9月 25日 | ～ | 令和6年 10月 25日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 35名 | (回答者数) 32名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年 9月 25日 | ～ | 令和6年 10月 25日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 15名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和6年 10月 26日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 教室が広く、児童発達支援・放課後等デイサービスが完全に分かれて活動することでそれぞれでより児童に対してニーズに合った活動・支援を行うことができる | 児童発達支援では、表情を読み取ったり、自分の気持ちの表出を行うような支援、放課後等デイサービスではSSTを用いて社会性をはぐくむ支援を毎日行い、その事柄などを記憶することで実践できるように取り組み行っています。 | 工場見学や職場体験的な活動を計画できるのであれば行いたいと思います。体験型の活動でさらなる社会性、児童の知識の充実化を図りたいです。 |
| 2 | お出かけなど、社会に出て買い物や施設で過ごすことでその場その場での約束事や決まりを守ることが出来るので先を見据えた社会性をはぐくむことが出来る | 注意する際は個別で静かに、褒めるときはみんなの前で大きに行うことで児童たちの自己肯定感の低さを改善し、自信をもって行動できることを増やしています。 | 2階があるので特別な夏祭りなどの行事に関しては環境を変えることで行動の切り替えや集団での行動が出来るようにお楽しみの中に学びがあるようにしています。 |
| 3 | 職員の共通認識により、教室で支援する際は同じ時間に、自由時間→片付け→活動→帰りの会などスケジュール通りに行動でき、行動の切り替えをスムーズに行える練習をしている | 児童が集団の中で意見を述べられる環境を提供し、自分も発言できるんだ、みんなの前で話せるんだを言う成功体験を、意識的に毎日作れるように支援しています。 | 教室内の環境をよくするために換気扇などの設備を追加で取りつけています。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 周囲の地域との交流が少ない | コロナウイルスの感染もあり交流出来ない時期が長かった | 地域の清掃や、文化祭、他教室との交流を増やして活動を小集団から中集団や、大集団で行うことも取り入れていく |
| 2 | 親との交流が半年に一度の面談で、他に送迎時に頻繁に会える方もいれば会えない方も多い | 家族数も多くなかなか大人数での家族会などになるので開催が難しい事が考えられている | 家族会などのイベントや親子でも参加できるような活動、見学を気軽にできるように声掛けを行う、事前に計画を考えて早めに告知し行うことを検討していく |
| 3 | 朝から来る児童が少なかったり、放課後に来る高学年の児童はどうしても活動時間が短く宿題などで1日の利用が終わる時もある、活動への参加が短い | 簡単だが充実している活動をもっと考えて支援していく、児童をグループ分けして参加させていく | 来年度に向けて児童の利用の必要性を考えて、児童の利用日程の調整を行い、集団での活動支援を充実できるように考えている |